



# 鞍手町立小学校のあり方検討便り

【令和5年1月26日 令和4年度第7回検討委員会開催分】

【令和5年2月16日 令和4年度第8回検討委員会開催分】

第14・15号

令和5年3月29日

今年度は、教育委員会において統合校の場所を決定した上で、いつまでに、どんな小学校を整備していくかを定める「鞍手町立小学校統合基本計画（以下「基本計画」とします。）」を策定する予定であり、検討委員会では、様々な協議を行い、教育委員会へ提言を行ってまいりました。

本来であれば、教育委員会でパブリックコメントを経て策定した基本計画の概要を、今号のあり方検討便りでお伝えする予定でしたが、現時点で基本計画を策定出来ておりません。

今号では、昨年末に提出された統合校の建設地に関する第3次提言書を受けた、教育委員会での協議概要、総合教育会議（※1）での協議概要、そして、現在の状況と今後の見通しについて報告します。

※1 町長と教育委員会を構成員とし、教育に関する協議を行う場。町長が招集する。

## ○ 教育委員会での協議概要

第3次提言書を受けた教育委員会は、提言の内容である町当局との協議を行うため、総合教育会議において、第3次提言書の内容、各建設候補地の評価結果及び検討委員会委員の意見（「第3次提言書等」とします。）を町長と共有し、統合校の建設地に関する意見交換を行いました。

検討委員会で使用した資料や協議の概要は、これまででも毎回教育委員会へ報告していましたが、最終的に提出された第3次提言書等の内容、総合教育会議での町長の意見も踏まえ、統合校の建設地としてどこが相応しいのか、総合教育会議の後に臨時教育委員会を開催し、教育長と4人の教育委員による協議を行いました。

その結果、教育委員会としては、小中連携等の教育面・スクールバスや通学路の整備状況を含めた通学面・コンパクトシティを目指す鞍手町としてのまちづくりの観点等を考えると、剣南小学校敷地が最適であるとの結論（※2）に、全会一致で達しました。

※2 教育委員会から町長への報告文書「統合小学校の建設地について（報告）」を、鞍手町ホームページに掲載しています。詳しくはそちらを参照ください。（裏面 QR コードから）

## ○ 総合教育会議での協議概要

検討委員会から第3次提言書が提出されたのちに、統合校の建設地を議題として、総合教育会議が3回開催されました。

町長としては、子どもたちが喜んで行きたくなるような夢のある学校が造りたいとの思いがあり、それにはかなりのスペースが必要になるために、敷地面積の面で最もゆとりのある旧鞍手北中学校敷地が統合校の建設地として最適であり、また、既存の6小学校のどこでもない第3の場所であることから、町民にとって平等であり、納得が得られやすいと考えていました。協議を重ねました（※3）が、剣南小学校敷地が最適と考える教育委員会と旧鞍手北中学校敷地が最適と考える町長との意見を調整することが出来ませんでした。

教育行政に関する教育委員会と町長の職務権限は、法律（※4）で規定されています。この法律の規定によると、学校の設置場所を決定する権限は教育委員会にあり、統合校を整備していくための予算を執行する権限は町長にあるとされています。

教育委員会としては、議論が平行線をたどり、町長との意見を調整することは難しいとの考えから、法律に規定された職務権限に基づき、教育委員会の結論である剣南小学校敷地を建設地として決定し、町長へ報告することとしました。

※3 総合教育会議の議事録は、鞍手町ホームページに掲載しています。

【鞍手町 HP - ライフイベント（教育） - 学校教育 - 鞍手町総合教育会議議事録 - 令和4年度（第2回～第4回）】

※4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

## ○ 教育長、町長から検討委員会への現状報告（第8回検討委員会）

統合校の建設地について、町長と教育委員会の意見調整がスムーズに進んでいないことについて、第8回検討委員会では、これまでおよそ2年間の協議を行ってきた検討委員会に対して、教育長と町長の双方から直接、現状についての報告が行われました。

教育長、町長からの報告に対して、一刻も早い統合が必要との認識でいる検討委員会からは、小学校の統合がスムーズに進んでいかない現状に対して、多くの意見が出されました。

その中でも、事務局の心に最も印象を残した意見を紹介します。

室木小学校の4月からの新1年生が今度1人だと聞いています。PTAの数もどんどん減って、児童数も30人をきるような状態になっているので、私の正直な気持ちでいうと、どこに建とうが、子どもたちがちゃんと教育を受けられて、運動会楽しかったなあ、修学旅行楽しかったなあというふうになってくれば、それが1番親が望んでいることかなあとと思います。

剣南小学校に出来ようが、旧鞍手北中学校に出来ようが、子どもたちが安全で安心に、親もいってらっしゃいってということで、楽しくて良かったねという6年間を過ごせてもらえればもうそれで十分かなと思います。

私の希望としては、もう先生方も限界だし、子どもたちもちゃんとした6年間をおくれない状態がどんどん続いて、多分これから先、児童数がどんどん増えることはまず無いので、どこに出来ようが、どんな学校であろうが、早く、1日でも1年でも早く、状況を改善していただけたらなというのが正直な気持ちです。

## ○ これからについて

鞍手町で1校になる小学校を、どこに建設するのか、どんな小学校にするのかは重要な課題です。鞍手町の将来を担う子どもたちがこの先50年通うことになる小学校ですから、安全で安心であることはもちろん、子どもたちが喜んで通いたくなるような、夢のある小学校であってほしい、その思いは町長も教育委員会も同じであると考えます。

しかしながら、校舎及び施設の老朽化や児童数の減少に伴う小学校の小規模化・学級の複式化等、子どもたちを取り巻く教育環境は必ずしも望ましいものではなく、統合に向けた調整に多くの時間をかける余裕はありません。

このため、統合小学校が開校するまでの間、既存の6小学校に通う子どもたちの教育環境を可能な限り改善するとともに、一刻も早い統合小学校の建設・整備に向けた取り組みを進めるため、引き続き、教育委員会と町長の調整を続けていきます。



### 発行責任・編集

鞍手町教育委員会 教育課教育環境整備係

E-mail : [gakkoukanky@town.kurate.lg.jp](mailto:gakkoukanky@town.kurate.lg.jp)

この便りは、町のホームページに掲載しています。

Tel 0949 - 42 - 7202

Fax 0949 - 42 - 0149

<https://www.town.kurate.lg.jp>



HP QRコード